

持続的生産強化対策事業のうち養蜂等振興強化推進事業に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名：九州農政局	
					目標の総蜂群数	基準年の総蜂群数 <small>令和2年1月1日時点</small>	目標年の総蜂群数 <small>令和4年1月1日時点</small>	達成率	具体的な取組内容	地方農政局等の評価所見	
福岡県	県内全域	福岡県養蜂組合蜜源植栽推進協議会	養蜂	令和2年度	令和4年1月1日現在の飼養蜂群数が、令和2年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	3,259群	3,164群	3,287群	100.9% 達成	・植栽検討会議：37名 ・蜜源植物の植栽：約47ha (レンゲ、クロガネモチ、サザンカ、吉野桜、温州ミカン)	飼育群数は目標を達成しており、計画通りの事業成果があったと考えられる。
福岡県	県内全域	福岡県養蜂等振興推進協議会	養蜂	令和2年度	令和4年1月1日現在の飼養蜂群数が、令和2年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	4,580群	4,446群	4,638群	101.3% 達成	・植栽検討会議：38名 ・蜜源植物の植栽：約0.5ha (モチノキ、日向夏、ポンカン、温州ミカン、ハルミ、デコボン、きんかん)	飼育群数は目標を達成しており、計画通りの事業成果があったと考えられる。
長崎県	県内全域	長崎県養蜂振興協議会	養蜂	令和2年度	事業実施地域における令和4年1月1日現在の飼養蜂群数が、令和2年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	1,557群	1,511群	1,494群	96.0% 達成	・植栽検討会議：15名 ・蜜源植物の植栽：約2.9ha (レンゲ、ビービーツリー、クロガネモチ、ハゼノキ)	県下でダニ被害が悪化、飼育群数が減少したものの、一部地域では対策が奏功したため、蜂群数が増加しており、衛生的な要因を排除すれば、事業計画通りの成果があったと考えられる。 県内全域では飼育蜂群数が増加しており、県や市を中心に蜜源の有効活用と適正配置に加え、衛生的な飼養管理技術の普及により、事業効果の最大化を求めたい。
熊本県	県内全域	熊本県養蜂等振興強化推進協議会	養蜂	令和2年度	令和4年1月1日現在の飼養蜂群数が、令和2年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ5%増加	7,444群	7,089群	7,624群	102.4% 達成	・植栽検討会議：約80名 ・蜜源植物の植栽：128ha (レンゲ、ひまわり、ヘアリーベッチ、クロガネモチ、ヤマハゼ等)	飼育群数は目標を達成しており、計画通りの事業成果があったと考えられる。
鹿児島県	県内全域	鹿児島県養蜂振興推進協議会	養蜂	令和2年度	令和4年1月1日現在の飼養蜂群数が、令和2年1月1日現在の飼養蜂群数と比べ3%増加	7,922群	7,691群	7,147群	90.2% 達成	・植栽検討会議：14名 ・蜜源植物の植栽：約63ha (レンゲ、ナタネ、ヘアリーベッチ、クロガネモチ、ネズミモチ、ミモザ等)	計画的に事業実施されたが、養蜂家の高齢化による離農や県養蜂協会の脱会により会員の飼養群数が減少したが、全体として蜂群数は増加傾向であり、概ね事業計画通りの成果があったと考えられる。 今後も、県や養蜂協会を中心に経営指導等を行い安定的な養蜂経営を続けつつ、蜜源の有効活用を図り事業効果の最大化を求めたい。

※成果目標に係る蜂群数は、1月1日時点の蜜蜂飼育届け提出者のうち、事業に参加している養蜂農家の飼養蜂群数。

達成度合の算定方法は、(目標年の総蜂群数/目標の総蜂群数)×100で算出すること(農林水産省畜産局畜産振興課担当班より)